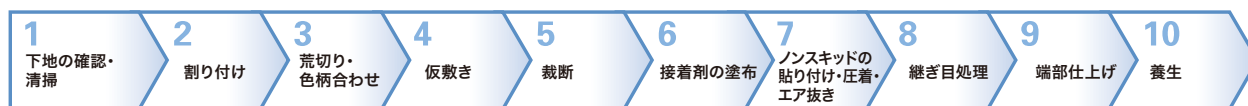


# ノンスキッド施工説明

## 基本手順



### 1. 下地の確認・清掃

砂やチリ、埃などを除去し、適切な下地処理を行い、下地が十分に平滑で乾燥していることを確認してください。

※平鋼板下地は、エポキシ系防錆塗料で十分な防錆処理をしてください。

※詳細は「施工前の共通手順」(P.11)を参照してください。

### 2. 割り付け

ジョイントが多いと仕上がりが美しくないため、出来る限りジョイントを少なく割り付けてください。長手方向にジョイントを合わせてください。また小さなサイズは、美観を損ねるだけでなく、接着不良による浮き剥がれの原因になるため出来る限り発生しないように割り付けてください。出入口は踏み込みが多く、ジョイントから傷みや剥がれが起きやすいため、出来る限りジョイントをしないようにしてください。



### 3. 荒切り・色柄合わせ

施工場所の形などに合わせて割り付けし、それに基づいて実寸法より5cmほど長めに荒切りしてください。

柄物は、1柄分余分に長く裁断し柄合わせをしてください。丈継ぎの必要がある場合は、さらに1柄分長く裁断し、丈継ぎのジョイントと合うように柄を合わせてください。

### 4. 仮敷き

現場の環境になじませ、運搬時の巻き癖、伸縮などを取り除くために荒切りして仮敷きしてください。特に低温時や寒冷地の場合、床材が硬くなっているため十分な仮敷き時間をとってください。

### 5. 裁断

#### 《巾定規による壁際の裁断》

巾定規は、壁面に対して床材の端が、ピッタリと沿うように裁断する道具です。巾定規の先端にカッターナイフをあて、壁方向に沿わせるように力を加えながら手前方向にカットしてください。



#### 《ジョイントの裁断》

ジョイント部は隙間なくピッタリと納まることが大切となるため、落とし込みまたはリノカッターなどを用いて、けがいてからカットしてください。

### 6. 接着剤の塗布

ウレタン樹脂系溶剤形接着剤WPX(BB-479・480)・WG(BB-601～603)を使用します。塗布する際は、専用クシ目を使用してムラがないように均一に接着剤を塗布してください。

#### 《接着剤の塗布の仕方》

周囲の壁際を先に切り込んでから床材を接合部から幅方向に向かって左右に折り返し(幅折り返し)、その部分に接着剤を塗布し圧着してください。そして残りの半分をそれぞれ折り返し接着してください。

### 7. ノンスキッドの貼り付け・圧着・エア抜き

オープンタイムを取り、貼り付け可能時間内に床材を貼り付け、しごき板でエア抜きしてから圧着時間内にローラーをかけてください。空気だまりがある場合は、しごき棒などで目地の方向に向かって押し出してください。空気だまりは下地の湿気の影響を受けて膨れの原因になりやすいため、小さなものでも見逃さず必ず取り除いてください。ヒートガンやトーチランプなどを使用する場合は、熱風の温度が高すぎると、床材表面が溶解しツヤが出る場合がありますので、温度に注意して施工を行ってください。

### 8. 継ぎ目処理

継ぎ目処理は専用の溶接棒を用いて熱溶接をしてください。

#### ●溝切り

床材の貼り付け・圧着の後、接着剤が完全に硬化してから、継ぎ目部分をU字もしくはV字に溝切りします。

※溝の深さは、床材の厚みに対して2/3程度としてください。

※ジョイント箇所は、溶接後の水捌けを考慮しエンボスの一番低い部分でジョイントしてください。

#### ●熱風溶接

専用溶接機ライスターを使用して目地部分を溶接します。

※熱風の温度が高すぎると、ジョイント周辺の床材表面が溶解し、ツヤが出る場合がありますので十分に注意してください。

#### ●余剰部分カット

溶接棒が十分に固まった状態でスパトラナイフなどを用いて余剰部分をカットします。

※溶接棒が固まる前にカットすると、後に溶接棒がヤセ、凹みとなる場合がありますので十分に注意してください。

### 9. 端部仕上げ

ノンスキッドの端末には、専用シール剤であるWPシール・HSシールを充填して処理してください。

#### ●シーリング部の確認

シーリングを施す面が、ゴミや埃などによって汚れていないかを確認してください。汚れている場合は清掃し、また湿気のある場合は十分に乾燥させてから作業を行ってください。

#### ●マスキング処理

仕上がりを美しくするために、シーリング部分にマスキングテープを貼りマスキング処理をしてください。

#### ●充填と仕上げ

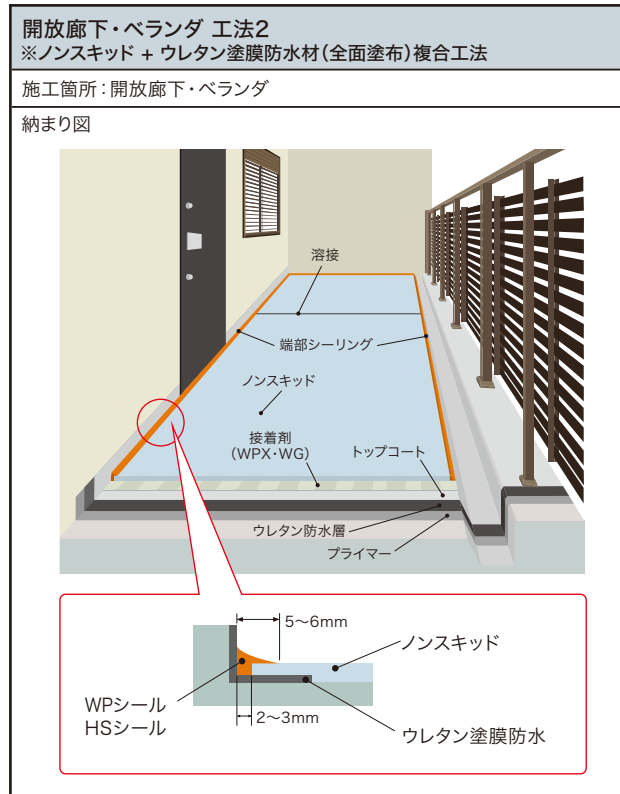
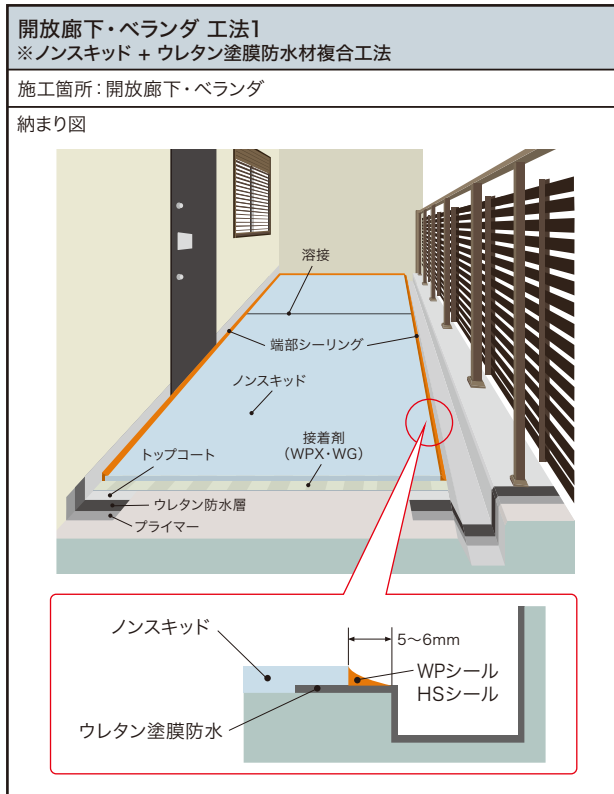
気泡を取り込まないようにシーリング面に均一になるように充填し、充填後は平らになるようにヘラで整えてください。ヘラ仕上げの際に、気泡の取り込みによりへこみが生じた場合は、すぐにシール剤をやや多めに充填し、再びヘラで仕上げてください。最後にマスキングテープを剥がしてください。その際テープに付いたシール剤で床を汚さないように注意してください。



### 10. 養生

施工完了後、床材の浮き、膨れ、剥がれ、突き上げなどの不備や接着剤による汚れがないかを確認します。施工後の汚れや破損を防止するため、必要に応じて養生シートなどで保護してください。また、シール剤が完全に硬化するまでは、シール部分を踏んだり、ブラシなどでの清掃はお避けください。接着剤が完全に乾燥固化するまでは、突き上げ・目隙・膨れなどを発生させる恐れがあるので、重量物などのキャストによるしごきはお避けください。

# ノンスキッド施工納まり図



## 各工法の概要 (開放廊下・ベランダ床工法)

工程	材料	標準使用量 (※1)	間隔時間	施工用具
1	下地調整	施工面のケレン・清掃を行い、既存床の油脂汚れなどを十分清掃する。 床面の不陸などがある場合は、補修をして平滑に仕上げる。		
2	塗膜防水 (※3)	ウレタンゴム系塗膜防水材 JIS A 6021 適合品とし、材料・工法は各メーカーの仕様とする。		
3	接着剤塗布	約0.35kg/m <sup>2</sup>	オープンタイム 10～20分(※2)	床用ヘラ
4	シート貼り		貼付可能時間 40～60分(※2)	床用ローラー
5	継ぎ目処理			専用溶接機
6	端部仕上	約0.02kg/m	端部仕上後 2～3日養生	カートリッジ

- 【注意事項】** ※1. 施工状況により若干異なることがあります。  
 ※2. 間隔時間は、施工時の環境により異なります。シート施工後は2日間養生してください。  
 ※3. 塗膜防水によっては、接着剤の密着性が発揮出来ないものがありますのでご注意ください。